

科目名	歴史総合	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間
-----	------	-----	------	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 世界と日本を相互的な視野から捉え、現代的な諸課題に直結する近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。【知識・技能】</p> <p>(2) 近現代史を学ぶことを通じ、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 近現代史を学ぶことを通じ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、我が国の歴史、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。【主体的に学習に取り組む態度】</p>
使用教科書・副教材等	<p>教科書 「歴史総合 近代から現代へ」 山川出版</p> <p>図説 「新詳歴史総合」 浜島書店</p> <p>問題集 「新歴史総合要点ノート」 啓隆社</p>

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数	
第1学期	導入 歴史の扉	4	学習方法、探究活動の進め方、課題、座席、評価の仕方についての指導。	28	
	第1部 近代化と私たち		第1部「近代化と私たち」		
	第1章 結びつく世界	5	近代化のおこりと近代化がもたらした世界および日本の社会の変化に関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 近代化の進行とその歴史的影響について理解している。【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】 ウ 近代化に伴う社会の変化や課題について考察し、問いを表現できる。【思考力・判断力・表現力】		
	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立		エ 近代化がもたらした課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】		
	第3章 明治維新と日本の立憲体制	6			
	第4章 帝国主義の展開とアジア				
	【知識・技能】				
	①定期考査(80%)…考査問題の中で人物名などの用語や事柄の前後関係など、基本的な知識について扱う部分を評価の対象とする。				
	②課題プリント(20%)…資料から情報を読み取り、まとめる課題プリントを課し、内容や提出状況を評価の対象とする。				
	【思考・判断・表現】				
①定期考査(60%)…考査問題の中で、歴史的事柄の背景や影響などについて考察・論述する問題や、複数の資料から考察したり判断したりする問題を課し評価の対象とする。					
②プレゼン・レポート(40%)…歴史的事柄の背景や影響について考察し、レポートやプレゼンテーションを行う。内容や提出状況を評価の対象とする。					
【主体的に学習に取り組む態度】					
①振り返り評価(20%)…授業に対する取り組みについての自己評価を評価の対象とする。					
②課題プリント(40%)…課題プリントの内容や提出状況を評価の対象とする。					
③プレゼン・レポート(40%)…内容や提出状況を評価の対象とする。					
【1学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%:40%:20%の割合で総括し、10段階評定とする。					

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
第2学期	第Ⅱ部 国際秩序の変化 や大衆化と私たち		第Ⅱ部「国際秩序の変化や大衆化と私たち」 二度の世界大戦がもたらした国際秩序の変化とその影響および大衆社会のおとずれに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 二度の世界大戦とその歴史的影響について理解している。【知識・技能】 イ 日本および世界の社会が大衆化することについて、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】 ウ 二度の世界大戦を経た国際秩序の変化および大衆社会の到来とその課題について考察し、問いを表現できる。【思考力・判断力・表現力】 エ 国際秩序の変化と大衆社会の課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	30
	第5章 第一次世界大戦 と大衆社会	7		
	第6章 経済危機と第二次 世界大戦	8 9 10		
	第7章 戦後の国際秩序 と日本の改革	11		
	【知識・技能】 1学期と同様			
【思考・判断・表現】 1学期と同様				
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様				
【2学期の評価方法】 1学期と同様				
3学期	第Ⅲ部 国際秩序の変化 や大衆化と私たち		第Ⅲ部「グローバル化と私たち」 冷戦とその終結、グローバル化に関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 冷戦およびその後の国際社会の動きに理解している。【知識・技能】 イ 冷戦を前後して国際社会がどう変化したか、またグローバル化がどのように進展したかについて、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】 ウ 冷戦時および冷戦後の国際社会の課題、グローバル化がもたらした課題について考察し、問いを表現できる。【思考力・判断力・表現力】 エ 冷戦後の国際社会が抱える課題について主体的に追究し、今後のよりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	12
	第8章 冷戦と世界経済	12		
	第9章 グローバル化する 世界	1		
	第10章 現代の課題	2		
	【知識・技能】 1学期と同様			
【思考・判断・表現】 1学期と同様				
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様				
【3学期の評価方法】 1学期と同様				
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」について点数化したものを合計した上で、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、年間の5段階評定とする。				